

北海道電力配電用品規格（HDS）	平成 24 年 2 月制定
鋼板ブロック	

1. 一般事項

1. 1 適用範囲

この規格は、主として架空配電線路の支線の基礎に用いる鋼板ブロックに適用する。

1. 2 種 類

鋼板ブロックの種類は、表 1 のとおりとする。

表 1

種類	適用支線棒	適用支線径種
S	連結単支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ²
	連結 Y 支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ² , 22mm ² +22mm ² , 22mm ² +38mm ² , 22mm ² +55mm ² , 38mm ² +38mm ² , 38mm ² +55mm ² , 55mm ² +55mm ²
M	連結単支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ²
	連結 Y 支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ² , 22mm ² +22mm ² , 22mm ² +38mm ² , 22mm ² +55mm ² , 38mm ² +38mm ² , 38mm ² +55mm ² , 55mm ² +55mm ²
L	連結単支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ²
	連結 Y 支線棒	22mm ² , 38mm ² , 55mm ² , 22mm ² +22mm ² , 22mm ² +38mm ² , 22mm ² +55mm ² , 38mm ² +38mm ² , 38mm ² +55mm ² , 55mm ² +55mm ²

1. 3 表 示

鋼板ブロックの抵抗板および取付棒には、それぞれ次の事項を容易に消えない方法で表示する。ただし、複数の種類で共用する部材には、適用する種類を併記する。

- (1) 種 類（例：「S」「M/L」）
- (2) 製造者名またはその略号もしくは登録商標
- (3) 製造年（西暦とし、末尾 2 桁でもよい）

1. 4 呼 称

鋼板ブロックの呼称は、品名および種類による。

例：「鋼板ブロック S」

1. 5 荷造りおよび荷表示

鋼板ブロックは、取扱いが便利で輸送中破損しないように荷造りし、荷の表面には次の事項を表示する。

- (1) 品名および種類（例：「鋼板ブロック S」）
- (2) 製造者名またはその略号もしくは登録商標
- (3) 製造年（西暦とし、末尾 2 桁でもよい。）

2. 構造および材料

2. 1 構造一般

鋼板ブロックの構造は、次のとおりとする。

- (1) 耐久性を有し、支線張力に対し十分に耐える構造とする。
- (2) 抵抗板には、JIS K 5572（フタル酸樹脂エナメル）により全面一様に塗装するか、もしくはこれと同等以上の性能を有する方法により防錆処理を施す。
- (3) 抵抗板以外の部品には、JIS H 8641（熔融亜鉛めっき）により全面一様に熔融亜鉛めっきを施す。

2. 2 材 料

鋼板ブロックの材料は、JIS 規格に規定された鋼材とする。

2. 3 形状および寸法

鋼板ブロックの形状および寸法は、付図 1～3 を標準とする。

3. 性 能

鋼板ブロックの性能は、4 項の試験を行なったとき、表 2 の性能を有するものとする。

表 2

項 目	性 能	試験方法						
外観試験	外観が 1 項および 2 項を満足すること。	4. 4(1)						
構造試験	構造が 1 項および 2 項を満足すること。	4. 4(2)						
強度試験	以下の試験荷重を加えた後、3 分間経過しても各部に使用上有害なひび割れ、変形等の異常がないこと。 <table><tr><th>種 類</th><th>試験荷重</th></tr><tr><td>S</td><td rowspan="3">127. 4 k N</td></tr><tr><td>M</td></tr><tr><td>L</td></tr></table>	種 類	試験荷重	S	127. 4 k N	M	L	4. 4(3)
種 類	試験荷重							
S	127. 4 k N							
M								
L								
めっき試験	めっきの付着量は 450g/m ² 以上であること。ただし、ボルトおよびナットは 350g/m ² 以上（ねじ部は除く）とする。	4. 4(4)						

4. 試 験

4. 1 試験の種類

試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 形式試験
品質の良否を判定するための試験
- (2) 受入試験
受入を決定するための試験

4. 2 形式試験

形式試験は、次の項目について行う。試料数は種類毎に 3 個とし、全ての試験に合格すること。

- (1) 外観試験
- (2) 構造試験
- (3) 強度試験
- (4) めっき試験

4. 3 受入試験

受入試験は、次の項目について行う。試料数および合格判定個数は、HDS（抜取検査基準）による。

- (1) 外観試験
- (2) 構造試験

4. 4 試験方法

- (1) 外観試験

目視および適当な度器により、1項および2項のうち外観に関する事項を調べる。

- (2) 構造試験

目視および適当な度器により、1項および2項のうち構造に関する事項を調べる。

- (3) 強度試験

鋼板ブロックを図1のように設置し、表2に示す試験荷重を3分間加えた後、各部の状態を調べる。

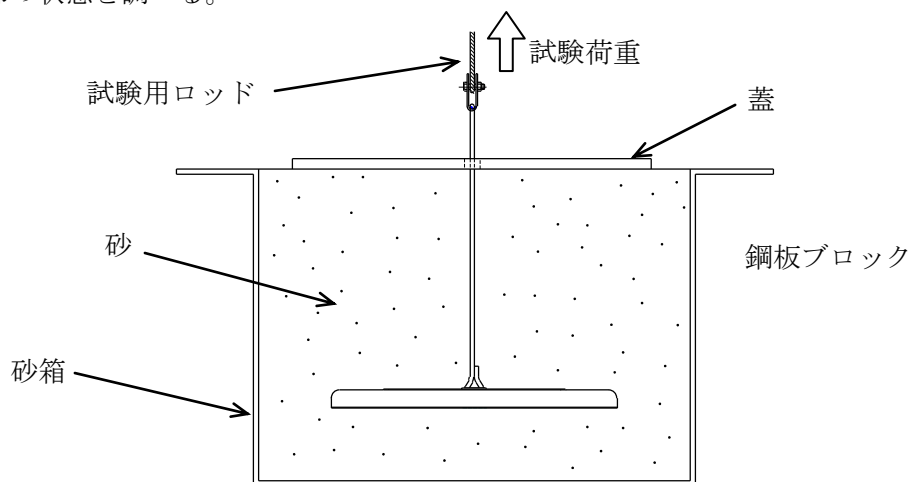


図 1

- (4) めっき試験

JIS H 0401（溶融亜鉛めっき試験方法）に規定する方法により試験を行う。

5. その他

5. 1 一般事項

- (1) 製造者は、形式試験時に 4. 2 の形式試験を実施し、その試験成績書を 2 部提出する。
- (2) 製造者は、納入時に 4. 3 の受入試験を実施し、当社が試験成績書の提出を求めた場合は指定した部数を提出する。

5. 2 関連規格

本規格に記載のない事項は、次の各規格に準ずるものとするが、規格の詳細について

ては当社と協議のうえ決定する。

JIS K 5572 (2010) 「フタル酸樹脂エナメル」

JIS H 8641 (2007) 「溶融亜鉛めっき」

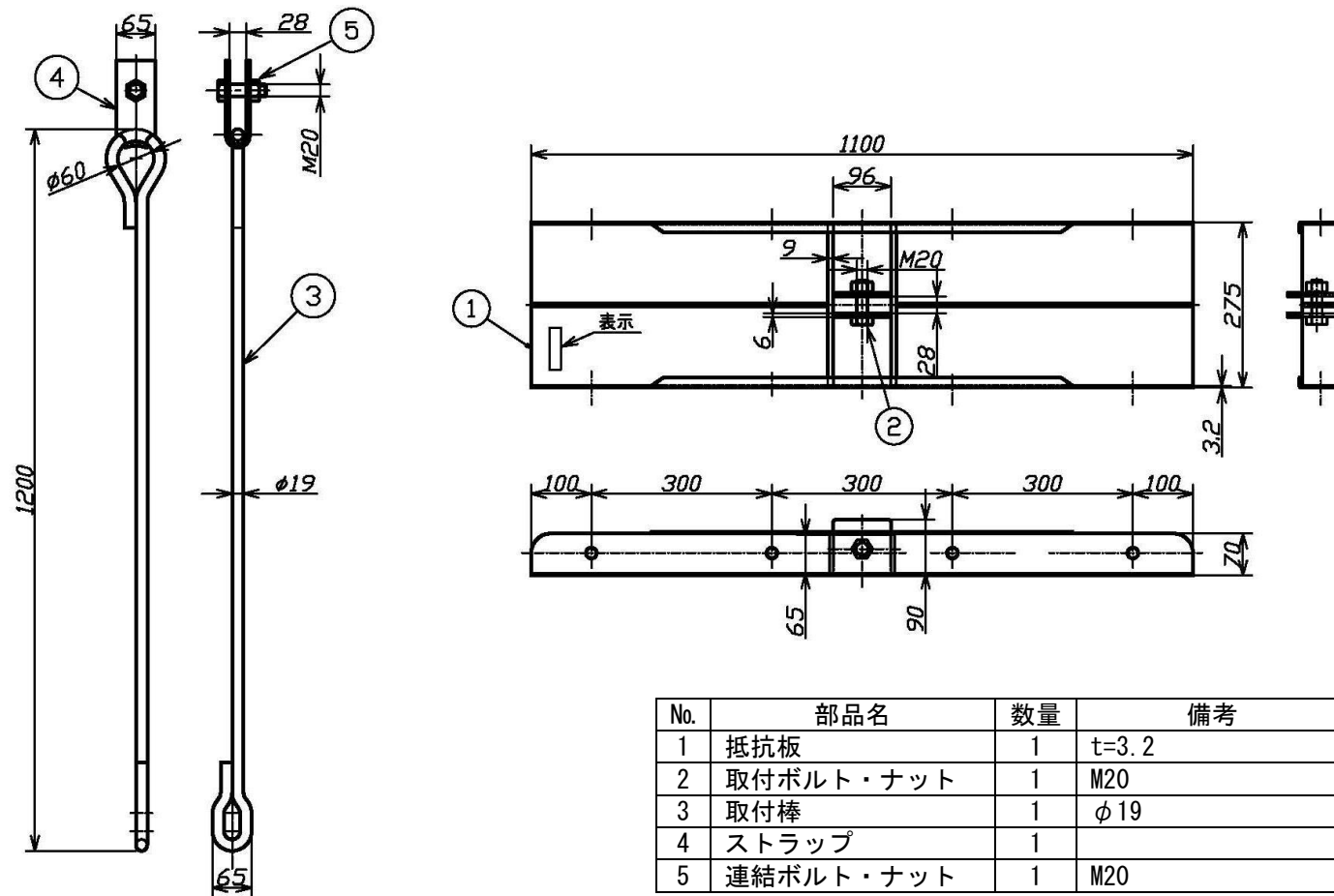
JIS H 0401 (2007) 「溶融亜鉛めっき試験方法」

北海道電力配電用品規格 HDS 「鋼より線」

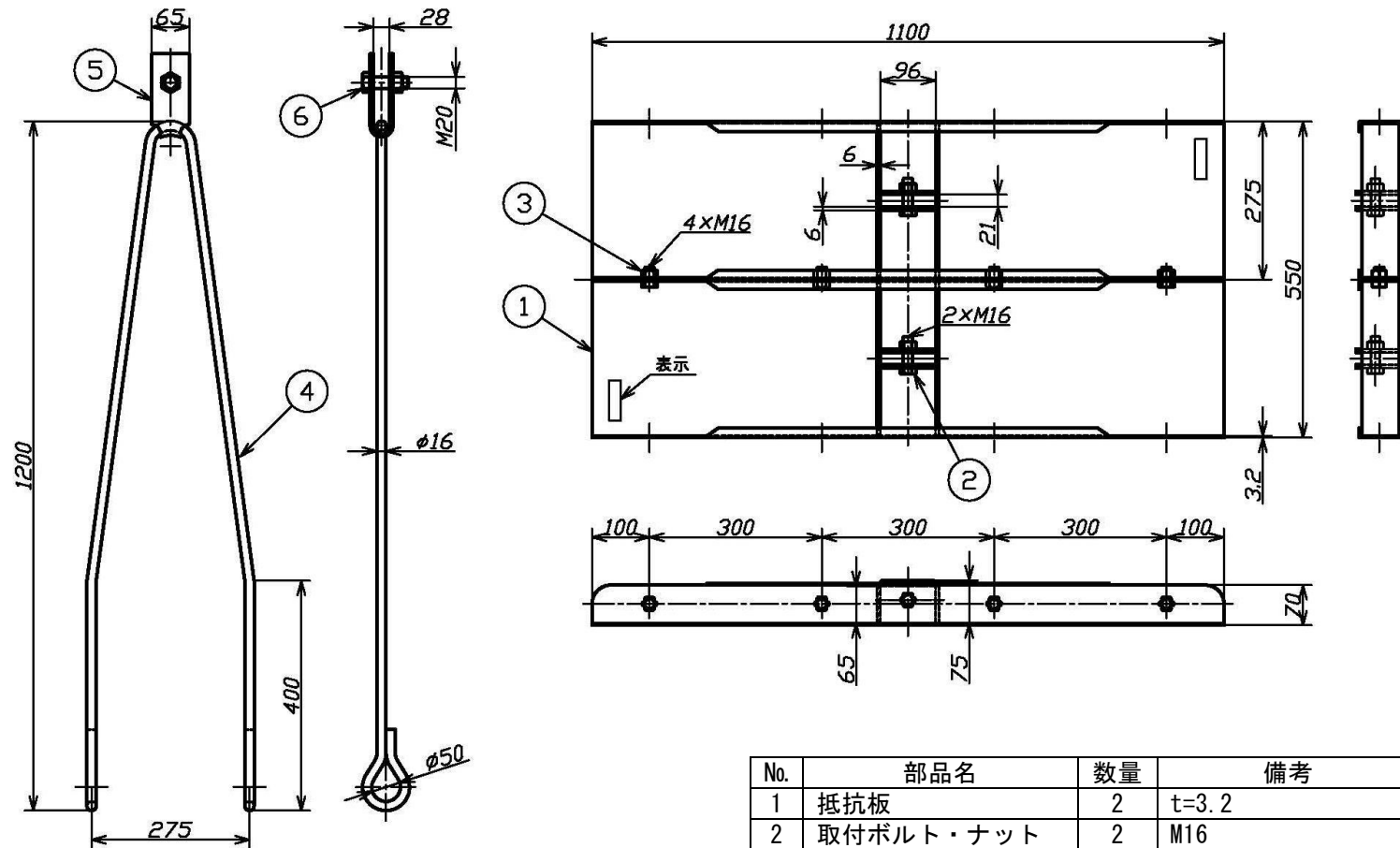
北海道電力配電用品規格 HDS 「連結支線棒」

北海道電力配電用品規格 HDS 「抜取検査基準」

付図 1 鋼板ブロック S 標準形状寸法図



付図 2 鋼板ブロック M 標準形状寸法図



No.	部品名	数量	備考
1	抵抗板	2	t=3.2
2	取付ボルト・ナット	2	M16
3	接続ボルト・ナット	4	M16
4	取付棒	1	$\phi 16$
5	ストラップ	1	
6	連結ボルト・ナット	1	M20

図3 鋼板ブロック L 標準形状寸法図

